

指 定 管 理 業 務 評 価 結 果 書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市グラウンド・ゴルフ場
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市四十瀬 4 番地 代表者 公益財団法人倉敷市スポーツ振興協会 会長 藤木 達夫
(3) 公の施設の所管部署	文化産業局文化観光部スポーツ振興課
(4) 評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、「防災体制・災害発生時の対応」と「業務効率化の取り組み」について重点的に確認を行った。 防災体制については、指定管理者が作成した「防災・危機管理マニュアル」に緊急時の防災組織・体制について明記があり、災害対策本部と現場対応にあたる災害対策班のそれぞれの役割について明確に示されていた。 災害発生時の対応については、「防災・危機管理マニュアル」に災害毎の対応手順が具体的に示されていることに加え、グラウンド・ゴルフ場が屋外の河川近辺の施設であることから、災害を想定した利用者対応として、雷の発生や河川増水時の利用者への注意喚起等を行っていることが確認できた。 業務効率化の取り組みについては、市が導入している「LINE WORKS」の活用により、事故報告等の迅速化・効率化を図るとともに、市	総合評価
		S

	が導入予定の新施設予約システムによる予約管理を検討する等、十分に取り組めていることが確認できた。 今後も災害対応については、利用者の大半が高齢者であることを踏まえ、迅速な対応を継続するとともに、業務効率化については、日々の一つ一つの業務を当たり前と思わず、より効率的な方法を日々検証し改善を加えることが利用者満足の向上に繋がるという視点を忘れず、日々の業務に当たっていただきたい。	
(2) 指定管理者の自己評価	夏季の記録的な猛暑にも関わらず、年間利用者数が過去最高となりました。 災害発生時の対応として、有事の際の連絡ツールとして LINE Works の ID が倉敷市防災危機管理室から付与され、使用に慣れておくため、これを平時の施設不備や事故報告、及び防災訓練時の共有ツールとして運用することとしました。初期情報を共有するためには、報告書類の作成、管理公園である福田への報告、事務局を通じた担当課への報告が必要ですが、災害等緊急時には、LINE Works により一括で共有することが可能となり、報告に係る事務の簡素化・効率化にも繋がっています。	
(3) アンケート結果の概要	昨年度と比べるといずれの数値も低下しているが、課題の教室イベント満足度以外は高水準を維持している。次期指定管理期間に入る令和 7 年度については、3 年間の指定管理期間での経験を踏まえ、利用者満足度の向上のため今までのサービスを見直し、新たな施策の実行により満足度の数値改善が出来るよう取り組んでいただきたい。	

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	名称	利用者数（人）		特記事項
		令和 5 年度	令和 6 年度	
	市内	15,035 人	14,885 人	対前年度比 99%
	市外	1,923 人	1,884 人	対前年度比 97%
	専用利用	5,132 人	5,494 人	対前年度比 107%
	合 計	22,090 人	22,206 人	対前年度比 101%
(2) 事業の内容	施設使用の許可及び使用料金の徴収に関する業務、備品等の貸出しに関する業務、施設の維持管理及び修繕業務、安全の確保に関する業務、災害時の非常対応に関する業務 等			

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	14,881 千円	
	市からの指定管理料（委託料）		11,243 千円
	利用料金		3,406 千円
	スポーツ教室等参加料		11 千円
	その他の収入		221 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	13,753 千円	
	主な支出	人件費	7,178 千円
		修繕料	1,736 千円
		光熱水費・燃料費	1,213 千円
		材料費・消耗品費	471 千円
		使用料・賃借料	75 千円
		手数料・委託料	1,716 千円
		保険料	11 千円
		減価償却費	377 千円
		租税公課	576 千円
		その他経費	400 千円